広報まき

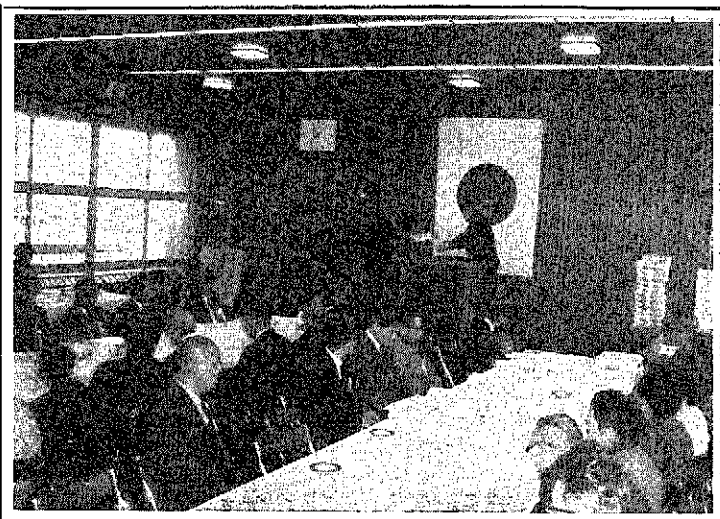
1966年11月27日
第 17 号
発行　新潟県巻町役場
電話 代表 (2) 3 1 3 1
編集　企画調査課

住民登録人口
(昭和41年10月31日現在)
総人口　27,808人
男 13,362人　女 14,446人
世帯数　5,903

町表彰式

栄えある七十五人・一団体
自治振興に貢献

○…昭和四十一年度町功労者の表彰式が十一月二十一日午前十時から役場議場で挙行…○
○…議長、税務署長、事業主を来賓に迎えて行なわれました。町民の中から一般の模…○
○…範にふさわしい功績または町の自治振興、公益などに功労のあった七十五人・一…○
○…団体の方が町から表彰を受けました。当日表彰を受けられた方は次の通りです。…○



◆永年勤続二十年以上(同一職場)
一区丸山栄次郎、三区石田安平、三区中村幸平、東六区鈴木安兵衛、十区渡辺与一、十一区田畑キセ、十三区内藤光子、内藤源子、赤塚二郎、酒井治郎、阿部米蔵、仁茴大橋二郎(以上丸善精機KK)、五区長島栄吉、伏部佐藤正吉(東北電気工業KK)、十二区鈴木ミイ(巻物産KK)、堀山団地木間ヨシ(酒野屋)、二区徳田浜一(住友生命蒲原支部)、四区渋谷セヨ(古寺新聞店)、九区斎藤義雄(久保田鉄工所)、五区中野直一十一区古内友栄(常盤屋製材所)四区舘秀夫(西部トラックKK)

◆産業振興
三区藤田義正

◆社会福祉
布目八木沢音松

◆納税優良三年
三区田村十二、五区池田寅蔵、櫛井ミブ、六区朝妻利家、七区有田三一、本田ハル、八区鈴木重仁、田辺芳夫、九区市橋徳一郎、十一区遠藤栄輝、樋口寅二、十二区金子七郎、古俣喜八、十三区阿部忠男、平野正義、赤さび陶山幸市、桜林田辺助一

◆納税優良五年
一区斎藤福十、田辺鶴司、二区井上政吉、岡本健次郎、久保田幸作三区有坂善兵衛、四区渡辺喜義、五区阿部清吉、古寺豊蔵、七区小林徹夫、八区五十嵐昭三、内藤芳栄、永野政夫、九区八木芳司、十区石田忠太郎、本井文内、十三区小柳マツ、長谷川勝治郎、小林賢司、馬場中組高橋俊一、漆山農業協同組合、福井一山寺

◆納税優良七年
中郷屋斎藤十郎

◆納税優良十年
三区大地甚三郎、八区中野栄、赤さび猪俣太六、小林三郎、中郷屋伝川常二

◆私財寄附
四区河治美枝、角田浜鑑田清蔵、群馬県伊勢崎市鈴木義男、新潟市福田茂夫、旭川市山川新一郎

英国大使
農教センター視察で来町

十一月十七日英国大使サーフランシス・ランドル氏は夫人のレデー・ランドルさんとホーラン等書記官らをともない、農業教育センター視察のため来町。大使は新潟県の各地を視察。十七日巻の洋食器工場を見学され、予定時刻の午後三時四十分ほど遅れて農業教育センターにお着きになりました。藤井センター長らの盛んな歓迎を受け、大使も心よく挨拶されておりました。大使は所長室でくつろいだ後、センター長よりセンターの沿革、新潟県の農業などの説明を聞きセンター内を見学されました。当日はあいにく雨のため、屋外にある近代的な施設を見ることができなく残念そうにしておられました。四時三十分過ぎ同センターを出発され、新潟市に向かわれました。

高血圧一食入院……竹野町で
塩分の取りすぎは命短し

町では十一月十日竹野町公民館を会場に郡内で初めての珍しい高血圧一食入院を竹野町部落、同婦人会の協力を得て実施しました。これは先の血圧検診のさい判明された要医療者三十一人、要注意者十七人の合計四十八人を対象に行なったものです。

当日は早朝から婦人会員八名が巻保健所栄養士の指導により高血圧食事の料理講習をかねながら一食入院の献立作りに精を出しました。

十二時おいしく出来あがり、一食入院には三十二人が出席。保健婦の高血圧食の注意「食塩を一日三〇g以上摂ると健康人でも血圧が非常に上ります。食塩が血圧を上げるもとであるということは完全に証明されていますので、高血圧の予防と治療には食塩の制限が欠くことの出来ない条件になっています。塩分をおさえた食事をするのが高血圧に一番大事なようです。また……」に熱心に耳を傾けながらボリュームのある食事にはしを運び、食べ終わると「これで血圧が下りました。」と冗談も飛ぶなごやかさ。なお一日三食の献立も作られ展示されました。

朝食　みそ汁、里いものころ煮、おひたし、牛乳、ごはん
昼食　焼魚、煮しめ、ミルク、ごはん
夕食　ポーチドエッグ、柿のごまあえ、白菜の信田巻、果物、ごはん

ちなみに費用は三食一人分で百六十七円。

引き続き食後は「血圧と生活」の映画が上映され、同地区が脳卒中死亡が多いためか、最後まで真剣に見入り関心の高さを示していました。

高血圧の人は 1日これ位たべましょう

米飯	750g	(米にして 2合)
牛乳	350g	(約 2合)
魚	70g	(1切れ)
卵	50g	(1コ)
豆ふ	50g	(⅙丁)
いも類	100g	(卵大 2コ)
緑黄野菜	100g	(ほうれん草 1束)
その他の野菜	100g	(大根で中丸 4cm)
果物	200g	(りんご、なし中1コ)
味そ	20g	(大さじ山 1杯)
砂糖	20g	(小さじ 2杯)
油脂	3g	(小さじ 1杯)

三回楽しめる抽選券付
新潟博前売券発売中

来年七月八日から八月三十一日までの五十五日間新潟市松波町海浜において「新潟大博覧会」が開かれます。これは新潟港開港百年新潟地震の完全復興を記念し、力強く伸びゆく新潟県の姿を広く内外に紹介し、産業の開発、観光開発、文化の進展をはかり、もって県民福祉の向上に寄与することを目的として行なわれるものです。これにともない、三回の抽選でそれぞれ豪華な景品が当たる前売券を役場で発売中ですので、売り切れないうちにお早くおめください。前売券は大人二百五十円、高校生二百円、小中学生は百三十円

第1回
◇締切日　昭和42年1月25日(当日消印有効)
◇発　表　昭和42年2月2日(新潟日報紙上)
◇方　法　前売券の「Aシール」をハガキには、住所、氏名を明記の上、新潟市西堀通り6新潟博事務局あてお送りください。
◇景　品　香港・台湾招待旅行(日通観光協賛)　1名
県内各地温泉招待(県内温泉組合協賛)　2人1組、百七十組ほか景品多数

第2回
◇締切日　昭和42年4月25日(当日消印有効)
◇発　表　昭和42年5月2日(新潟日報紙上)
◇景　品　プレハブ住宅(パネ物・大和ハウス協賛)2戸ほか景品多数。

第3回
◇発　表　昭和42年7月8日(新潟日報紙上)
◇方　法　前売券の番号により抽選します。
◇景　品　トヨタパブリカデラックス乗用車……1名
香港・マカオ招待旅行(小林百貨店協賛)……2名
日立カラーテレビ……2名
コロムビアFMオートステレオDSC-505……2名
ナショナル電気冷蔵庫-110ℓ家庭用……6名
ソニーマイクロテレビ・ソリッドステート50……6名
コカ・コーラ半ダース……2400組ほか景品多数。

大分国体レスリング競技
巻農高・赤川君優勝

第二十一回国民体育大会秋季大会が大分県で開催されました。巻農業高校からレスリング競技に四名が出場、五十五キログラム級で赤川光広君が優勝しました。レスリング競技は十月二十四日から二十七日まで、大分県佐伯市佐伯鶴城高校体育館に行なわれました。

井井(二年)五十五kg級赤川光広(三年)六十五kg級村佐久栄(三年)七十三kg級木間一(定時制四年)の四君が出場。赤川君は決勝に進出、北海道代表の中君と対戦判定で破って優勝しました。

五十二kg級に出場した今井君も良く健闘し、五位に入賞しました。今井君はまだ二年生ですので、来年の活躍が期待されます。

巻農業高校からは五十二kg級今井君(二年)五十五kg級赤川光広(三年)六十五kg級村佐久栄(三年)七十三kg級木間一(定時制四年)の四君が出場。赤川君は決勝に進出、北海道代表の中君と対戦判定で破って優勝しました。

五十二kg級に出場した今井君も良く健闘し、五位に入賞しました。今井君はまだ二年生ですので、来年の活躍が期待されます。

巻農業高校体育館完成

私は幸運で優勝でき、みなさんのご期待に添えることができたことをうれしく思っています。

新潟での合宿練習が実を結び、優勝をもたらしたと思います。

千葉県に学ぶ
三人の農業青年

昭和四十一年度先進地研修に町から三人の農業青年が参加しました。行き先は真島郡一さん(十九才薬剤場)、小林正之さん(二十三才東町)が千葉県に、鵜俣里志さん(赤さび)が千葉県山武郡。十一月十五日から三ケ月間寝食を共にして千葉県農業の施設園芸、自立経営、技術、流通機構を学び、地域農業の振興に役立たせることになっておりその成果が期待されています。

連者でいます
秋田の風土

池上治郎

秋田へ仮住まい
小ぶな釣りしかの川
夢はいまもめぐりて
忘れがたきふるさと
生れ故郷を離れて異郷の地で
ご活躍の町出身の方からふるさとをしのび玉稿をいただきました。

うさぎ追いしかのやま
秋田市は水戸から移封された佐竹候二十万石の城下で、戦災を知らず、天然杉の国の首都だけに緑が多く、ひなびていかにもみちのくの街らしいたたずまいである。

秋田と言えば名物に民謡がある。民謡は生活の唄であり、労作の唄であり、また風土から生れた唄であって、作詞、作曲とも作者は全く判っていないが、いつの世から唄いつがれて今日にいたっているという。貧しい農山漁村のきびしい生活、親子の愛情、美しい秋田娘の心等々を、美声にのせたこれ等の唄は哀歓それぞれに情緒深いものがある。荷物にならないのだから覚えて故郷へのみやげにしたいが、美声の持ち合わせもなく、又むつかしく、とても持っては帰れそうにもない。

十一月に入ると早々、秋田県から約四万人の出稼者が京浜、中京方面へ出発する。

「オヒ、早く帰ってけれ」

これはこの出稼の夫や父に、妻子が心をこめて送る、来春四月までの長い別れの共通した言葉である。四万人の中から、豪先で故郷の妻子を捨てて新家庭を営む者、行方不明の者が毎年若干出るからでもある。

秋田県は農山村の社会問題として、出稼防止に努めたいのであるが、弱少な経済力はこれを救うすべもないようである。

私は毎年墓参その他で帰郷するが、美田を除いて、取りあげる生産業もない巻町ではあるが、何故か街には活気が漲れて、陰気のないのがいつもうれしい。

職業　日本通運秋田支店長
住所　秋田県鷹巣地上木町四

みんなで明るいお正月を
歳末たすけあい運動

共同募金運動の一環として本年も十二月一日から十二月三十一日まで「歳末たすけあい運動」が実施されることになりました。

世の中の不幸をなくして、みんながしあわせであるようにと、お互いに手を結んで助け合う運動は国民助け合いの精神で家庭や身近な人のあいだから始まり、年ごとに大きくそだってきました。これら社会の善意ある暖かい人々の手によって、毎年多くの寄付が寄せられています。

「みんなそろって明るいお正月を」迎えられるよう、ぜひとも、この趣旨にご賛同のうえ、みなさんの暖かい気持を、たくさんの恵まれない人たちのうえに注いで、この「歳末たすけあい運動」にご協力ください。

重症心身障害児に
善意の「おむつ」を贈ろう

重症心身障害児に善意の「おむつ」を贈る運動が行なわれています。

現在県内には、二百、三百の障害をもつ重症心身障害児が約六百人もおります。これらの重症心身障害児は、主として脳性小児マヒで、神経のマヒから尿意を感ぜず、失禁するものが大部分です。なにしろ赤ん坊とはちがいますので、多量の「おむつ」が必要で家庭ではその調達に困っております。皆さんのあたたかい善意で、できるだけ多く「おむつ」を集めてこの運動に協力いたしましょう。

一、協力期間
　十二月十日まで
二、協力品
(イ)、おむつのできあがりもので、一メートル五十センチを輪にしたもの。
(ロ)、ゆかた、毛布、敷布、タオル、手拭いなど古くとも清潔のもの。
三、取扱場所
　社会福祉事務所、役場厚生課

くらしのメモ

今年のカレンダーも最後のページ。十二月を迎えるとも一年が終わるのか、と月日のたつ早さをしみじみと感じるものです。そしてこの月の一日一日はさらにあわただしく、一年間のしめくくりと迎春の準備に忙殺されることでしょう。

四　日　大雪
七　日　人権週間始まる。
八　日　針供養
十四　日　義士祭
十五　日　年賀郵便特別扱い始まる。
二十二日　冬至
二十三日　皇太子誕生日
二十八日　御用納め
三十一日　年越し

◆防犯

あと一月でお正月。一年中で一番犯罪のおこりやすい時です。すり・ゆすり・あきすねらい・寸借さぎ・ひったくりなど。すべて年の瀬のせわしさにつけいり、わたくしたちのちょっとしたすきをねらう犯罪ですから、十分気をつけましょう。

◆年の瀬

押しつまってまごつくことのないように、自分の能力を考えたうえで、およそのスケジュールを立てましょう。茶の間のカレンダーに仕事の手順をメモしておくと案外役に立ちます。

師走は仕事に追いまくられ、気もいらだちがちになりますが精神面での一年のしめくくりも忘れてはならないことの一つです。気分転換をかねて、静かな一時あるいは一日を作り、一年の反省と新しい年への期待を家族ともども話し合いましょう。

そんな時、世間にはまだまだめぐまれない人々がおおぜいいることを考え「助け合い」運動に積極的に協力する方法なども話題にのせたいものです。

（巻駅）

年賀状は遅くとも二十二日までに

年賀状の特別取扱いは、十二月十五日から始まります。元旦配達にまにあうように、十二月二十二日ごろまでに差出してください。二十二日以後に出されると、整理などで遅れ、元旦に配達することがむずかしくなるそうです。

◆年賀状の出し方

(1)「自市町村あて」とその他のもの「他市町村あて」とに、区分けして別々に束ね、チラシや適宜の紙片をつける。

(2)あて名は、都道府県名、市郡町村名、番地、肩書までくわしくはっきりかきましょう。

正月用モチの発送は12月20日までに

毎年、年末になりますと、東京方面へ沢山の荷物が送られます。最盛期には、巻駅だけで一日二百五十個も発送されます。

東京など大都市では、全国からモチを始め正月用品が集中し、荷物の集中豪雨の状態になり、駅や運送店の倉庫は山積みとなり、最悪の場合、取り卸しのできない荷物は貨車に積んだまま、一時手薬煉に疎開されることもあります。元日までに届くためには、十二月二十日前に必ず発送しましょう。

配達付き荷物はおくれがちです

大都市とその周辺は、交通ラッシュで二方通行、駐車禁止、右折禁止などのため、目の前に配達先があっても遠廻りしたり、小型車を使用するなどで、配達付きはおくれがちになります。

迷子荷物にならないように

省略した住所や、一部の書き違いのため、毎年たくさんの迷子荷物がでます。

あて先には必ず都道府県名、市郡町村名、番地、肩書きまでくわしくはっきり書きましょう。

荷物自体にもあて先を記入し、荷札は二枚以上つけ、荷物の中にも一枚入れてください。

なお、共稼ぎ家庭は留守がちですから、発送した日をハガキで知らせてください。

輸送方法

午後三時までに受付けたものはその日発送します。

荷物は一個二十キログラムまで一個一口となります。

今年は、お客様の便をはかり、十二月中巻～新潟間をトラックで輸送し、新潟～隅田川間は貨車で直送となります。

巻駅から毎日午後四時発送いたします。

注　東京方面行きの荷物は、あちらについてからの処理がおくれがちになりますのでご了解ください。

（巻駅）

「はたちの声」作文募集

来春、新しくおとなの仲間入りする男女から、希望と決意を述べた作文を次の要領で募集いたします。

一、テーマ
　はたちの声「郷土新潟県をこのように築いてゆきたい」
二、応募資格
　昭和二十一年一月十六日から昭和二十二年一月十五日までに生れた新潟県在住者
三、応募原稿
　四百字詰原稿用紙三枚以内（住所、氏名、職業を記載）
四、締切り及び送り先
　昭和四十一年十二月二十日までに「新潟市学校町一、新潟県庁文書広報課、はたちの声作文係」へ
五、表彰
　入選五点に知事賞、新潟日報賞
　佳作数点に記念品
　なお、詳しいことについては役場管理課にお問い合せください。

公衆電話を設置
五区大岩食料品店脇に

巻電報電話局では、このたび五区の十字路（大岩食料品店）脇に新しく公衆電話を設置いたしました。これは町民の皆さんから、夜間、早朝でも利用できる公衆電話を設置してもらいたいとのことで設置されたものです。

この公衆電話は駅前の公衆電話と同じく、二十四時間市内はもちろん市外にも使用できますので、できるだけ多くご利用くださるようお願いいたします。また、公衆電話の設置されてある場所は、駐車禁止区域になっておりますので、駐車のために公衆電話が利用できないことのないようにご協力をお願いいたします。

おかあさんも一生懸命
母親教室で勉強

十一月四日、九日巻保健所において母親教室が開かれました。これは姙産婦を対象に行なうもので、四日は医師による講義で(イ)姙娠の生理と姙娠中におこりやすい疾病とその予防、手当について、(ロ)お産のなりゆき（分娩）について、九日は助産婦による実際の指導で(ハ)お産の準備とお産の介補について、(ニ)お産後の生活の心得について、(ホ)新生児（赤ちゃん）の取扱いと沐浴（おふろ）の入れ方についてなどの講義と実際の指導を行ないました。当日も十二人の受講者が出席し、先生方の講義や指導を熱心に聞いていました。これは毎月一回行なっているもので、役場から通知を受けた方は、どしどし受講されるよう保健所と町当局では望んでいます。

講義を熱心に聞き入るおかあさんたち。

保母試験受験準備講習会のお知らせ

来年三月に実施する保母試験にそなえて、保母試験受験準備講習会を、次の要領で行ないます。

一、期日
　十二月十九日～二十四日
二、場所
　新潟市一番堀通り一
　新潟市公会堂
三、申し込み先
　新潟市学校町通り一ノ六〇二
　県庁内　児童課
四、申し込み期日
　十一月十日～三十日（三十日の消印のあるものは有効）
五、受講料
　申し込みと同時に現金五百円を児童課へ納入すること。
　なお、申し込み用紙は役場相談室においてあります。その他詳しいことについては役場厚生課にお問い合せください。

町民将棋大会結果

文化祭行事の一環として、十一月十三日公民館ホールで、秋季将棋大会を開催、全町から将棋愛好家百名が参加しました。

江端町長の祝辞があり、つづいて竹野大会委員から試合方法について説明がありました。

試合は五組に分れて行なわれました。

当日参加した人たちは、いずれも腕に自信をもっており、日頃の腕を発揮し、終始熱戦がくりひろげられました。

入賞者は次のとおりです。

松の組　一位　塩谷晴一　十区
　　二位　笹口信雄　松野尾
竹の組　三位　岩崎　勇　稲島
　　一位　西村雄善　五区
　　二位　笹川龍作　十四区
梅の組　三位　山岸礼一　十三区
　　一位　永井芳春　高校生
　　二位　寺沢栄一　鷲ノ木
桜の組　三位　田辺昭三　漆山
　　一位　本間与作　交通
　　二位　小池頼寧　交通
桃の組　三位　内藤大津雄　東汰上
　　一位　渡辺純一　竹野町
　　二位　五十嵐修　三区
　　三位　田中喜久雄　八区

カメラ・ニュース

七五三

七五三の十五日は、全県下寒波に見まわれ、みぞれが降る悪天候。でもこの年令に当たるお子さんが、晴れ着を着て楓神社へお参りする風景は、なんともほほえましい。しかし、これがお子さんとおかあさんの衣装コンクールの感がある。

町民音楽祭

20日午後2時から巻小体育館で、町民音楽祭が催された。関係者では初めての試みだけに心配していたが会場には約四百名の観客が入った。出演者は合同演奏、コーラス、独唱など14種目にわたって熱演、万雷の拍手を浴びて大盛況のうちに幕をとじた。

一日里親

養護施設巻学園の良い子たち二十八人が十一月五、六日の二日間一日里子として町にやって来ました。役場で引渡し式後、それぞれの里親に手を引かれ家庭にむかいました。一日たっぷり楽しい家庭生活にひたった子供達は翌日楽しかった思い出を胸に、元気に帰って行きました。